



略歴

昭和49年生まれ。大分県出身。41歳。横浜市金沢区在住。妻と2女の4人家族。平成9年、創価大学法学部卒業。平成15年、米国・ワイオミング大学大学院 公共政策学 修士課程修了。大手物流会社を経て、平成27年4月、横浜市議員に初当選(金沢区)。現在、公明党神奈川県本部青年局次長、学生局次長、金沢支部支部長。

「市政の向上へ」～各種団体との意見交換、調査・研究を精力的に～

市会第2回定例会閉会後も、各種団体との意見交換会、党内での政策協議などを、精力的に行っています。7月10日に投開票が迫る参議院議員選挙への対応も大事な仕事ですが、いかなる時も更なる市政の向上へ、着実な調査・研究活動は欠かせません。

● 政策懇談会を開催

公明党横浜市議員団として、6月9日～15日の5日間で、建設業協会、医師会、教職員組合はじめ、市内の31団体との政策懇談会を行いました。

毎年この時期定例の意見交換会ですが、それぞれの皆さまの現場に密着した課題を教えて頂く貴重な機会です。大切なお意見を今回もしっかりと予算要望などに反映して参ります。



● 市会公明党・政務調査会



政務調査会は、議員団として、中長期的な重点政策の

方向性、具体的な中身を検討していく、非常に大事な会議です。6月3日の会議では、我が党が長年議論をリードしてきた小児医療費の無償化の今後について、検討を行いました。

● 孤立を防ぐ地域づくり特別委員会

6月7日は同委員会の審議が行われました。初回のこの日は、調査・研究テーマについて討議。「横浜市における障害者を孤立させない地域生活を支える取組みについて」をテーマとすることに決定しました。委員からは、災害弱者の問題、住居の問題など、研究を進めていく上での視点について、様々な提案も出ました。

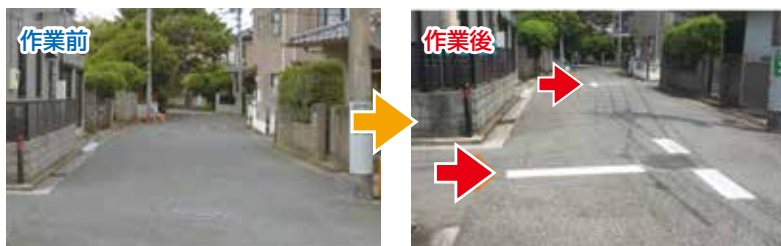
インフラも含めて、社会が障害のある方を「当たり前」に受容する環境を作っていくことが、最も大切なことだと考えます。1年かけて、しっかりと研究を進めて参ります。



地域の中へ、皆さまのもとへ!

6月は並木の舟だまりで行われた「祇園船進水式」や、夏山東町内会の縁日などの地域行事への出席はもちろん、支持者の皆さまの集いや個人のお宅への訪問対話にも積極的に。そのような中で「実は…」と貴重なご意見、ご相談を頂くことも多くあります。『知恵は現場にあり』です。このような機会を今後も大切にして参ります。





写真は、洲崎町内のある通り。見通しの悪いT字路が続き、出会い頭の衝突が心配されていた所です。場所の制約上、カーブミラーの設置は叶いませんでしたが、路面にT字の白線を引き、交差点であることを強調しました。どうか無事故で!

こちらは横浜市南部斎場の駐車場。「照明が暗くて怖い。危ない。」などのお声を頂いておりました。既存の照明に LED 照明を追加設置、壁際にも新設するなどし、明るさが格段にアップしました!



公明党 横浜市会ニュース「VOICEよこはま」より

☎「小児救急電話相談」全ての年齢での対応が可能に!



公明党が積極的に推進し、平成18年7月から開設された「小児救急電話相談(いいナース1174)」。その後も相談時間帯の延長など、制度の拡充を実現してきました。小さな子どもを持つ親が子どもの急病に際し、「救急医療機関を受診した方がいいのか」「家庭で見守る場合にはどのようにすればいいのか」などを**直接電話で相談できる窓口**として、この「小児救急電話相談」は高い実績を上げています。

一方で、高齢者の方々が安心して老後を暮せる社会を築くことも急務となっています。介護に関する様々なことは、福祉保健センターや地域ケアプラザでも相談できますが、これから増加が見込まれる認知症の方やその介護者への支援を充実させることも必要と考えています。そこで、幅広い年代に対応する相談体制の拡充が不可欠であると訴え、早期実現に向けて働きかけてきました。その結果、今年1月15日から、《#7119》による、小児から成人の全年齢に対応した救急電話相談が開始。さらに6月からは**24時間の対応**になりました。

皆さまの声を お聞かせ下さい

FAX:045-345-4345

たけのうち猛
オフィシャルサイト
takenouchi-takeshi.com



メルマガ登録は
こちらから!



空メールを
送信してください